

株式会社エフエムなかそらち番組審議会 議事録

1. 開催年月日

令和 5 年 5 月 29 日(月)

2.開催場所

滝川市まちづくりセンター『みんくる』

3. 審議委員 委員数 7 名

【出席 4 名】委員長:田中 一徳

委員:佐藤 裕太郎、少覚 峰生、佐々木直巳

【レポート提出 1 名】委員:中島 美穂

【放送事業者側出席者】めい

4. 議題 番組審議『おと一さんの心理学入門』

毎月第 4 火曜日 放送 午後 18:00～18:30

5. 議事の概要

番組審議委員の該当番組に対する意見聴取

6. 審議(議事)の内容

- ・総じていい番組だと思った。
 - ・他の番組では音楽や趣味の話題が多い中で、結構アカデミックな番組で今の G'Sky には少ない系統なので良いと思った。
 - ・しかし、時間帯・帯番組の内容的に、月一回の番組とはいえ少し尖った印象は感じた。
 - ・非常に声も聞き取りやすく、心理学を学んだことがある人であれば聞いたことのあるキーワードがいくつか出てくるので、親しみやすく聞きやすかったのではないかと、全く知識がない人でも少し興味を持ってくれるような切り口でお話しているなと思ったので、これを機にまた次回も聞こうかなと思う方もいると思った。
 - ・ただ、いつもの感じとは違うので、時間帯の問題には課題があるのだろうと感じた。
 - ・内容は、心理学を学んだことのある自分にとっては、非常にわかりやすい、聞きやすいお話の仕方だったし、次回はどんな話をするのか、どう続いていくのだろうと、個人的には非常に関心が持てた。
 - ・高校生向けというよりは、もう少し勉強した人の方がわかりやすい内容だと思った。
- しかし、関心を持ってもらえる切り口はいくつかあったというのは印象に残っている。
- ・パーソナリティーとのやりとりについて、事前にここを質問したいなどのやり取りの打ち合わせがあると、よりいい形で対話ができ、聞きやすい内容になると思った。
- おと一さんの回答も事例なども含めて、より具体的な話題に触れることができ、おと一さん本人がかなり勉強されている印象だったので、よりおもしろい内容が聞けると思う。

・ながら聞きが多いだろうというラジオの特性上、自分も仕事をしながら聞き、片手間に聞くと内容が入ってこない、難しい内容が多いと感じた。

・BGM は和やかで誰もが聞きやすい番組を目指しているのだと感じられたが、内容を聴いていると専門性が高く、聞く人を選ぶ内容だと感じた。

・心理学への熱い思いが感じられたが、一方的に話す場面が多く、もう少し聞き手パーソナリティーの相槌や話すターンがあってもいいのではと思った。

パーソナリティーが疑問に思ったことや、リスナーが疑問に思っただというところをこまめに質問して織り交ぜていくことで、よりリスナーが理解し興味を持てると思う。

・ひとつひとつがすごく難しい話題で、かつ長い尺でお話されていたので、途中から聞き始めた人には今何の話をしているかわからない、ということがあったと思った。

1 つあたりの尺を短くし、多くの話題に触れることで、途中から聞き始めた人でも参加しやすいタイミングを作ってあげるといいと思った。

・BGM が変わる頻度が高かったが、1 曲同じ曲を繰り返してもいいと思った。(BGM が変わるたびに、そこに気を取られてしまった)

・声の大きい方なのか、おとさん側のマイクが終始割れ気味なのが気になった。

・結構専門的な内容だと感じた。

・自分も心理学を学んだ経験があるが、発達心理学や児童心理学、社会福祉学などは、社会福祉主事・社会福祉士の勉強をした際の教科書の内容だったので、これまで心理学に関わったことのない方はわからないだろうな、と思った。(高校生よりは大学生レベルの内容だと感じた。)

・夕方の帯番組内でのコーナーだが、番組自体が割とライトな柔らかい感じの情報を中心に放送している中で、学校で習うような本格的な心理学の話となると、あまり頭が切り替わらず話が入ってこない、朗らかな BGM との mismatch を感じた。

・自分は心理学を学んだ経験があるからかろうじて話が分かるが、わからない人も多いだろうと思う。

・看護師をしているので大学時代に心理学を学んでいて、森田療法など専門的な用語にもなじみがあるが、「心理学入門」というタイトルにしては深いところから話をしているなど思った。

・話している内容としては、日本はとて精神疾患の患者が諸外国に比べても多く、若者の間でも鬱病による自殺なども多い国なので、そういった状況を心理学を通して話すことは、公衆衛生的にいいと思った。

・森田療法の話教科書的に 1 から 10 まで話すというよりは、おとさんの考える森田療法の特徴というのを話していて、情報の羅列ではなかったのも、おとさんはそういった風に捉えているんだなと考えると、聞きやすいと感じた。

・心理学を学んだことがある人は、きっとおとさんの心理学に対する熱い想いを感じていると思うし、自分自身、喋りきれなかったな、もう少し喋りたかっただろうなと思いつつ、お父さんの熱を感じ楽しく聞けた。

・ありのままを受け入れるとか、仏教にも近いようなお話しもしていたので、個人的には今の日本人に足りない部分だと思っているのでいいことを言っているなど思った。

・おとさんの声が、個人的にはすごく落ち着いたいい声で、心地よく聞けた。

- ・心理学、心理療法(カウンセリング)の説明でしたが、保険適応などの話になってしまい、分かりづらかったです。
- ・一つの説明に対して違う言葉が出てくるとまたその説明になってしまってなかなか難しい話が続くことが多いので聴いていて難しい感じがしました。
- ・たくさん療法があって短時間で説明するのは大変だとは思いますが。
- ・とても為になる話だとは思っているので、もう少しポイントを絞って分かりやすいほうが良いと思います。

(その他意見)

- ・基礎知識がある方とない方では、捉え方がかなり違うと感じた。
 - ・聞き手であるパーソナリティーの率直な疑問が、心理学に馴染みのないリスナーの疑問点でもあると思うので、なるべく質問を交える隙を持った方が理解も進むのではないかな。
 - ・質問を入れるゆとりを持つことで、内容もライトになり聞きやすくなるのではないかな。
 - ・質問を募ってみてはどうか。質問の内容がリスナーのレベルだと思うので、それに答えると自然にリスナーのレベルに合わせた話ができるのではないかな。
- ・『心理学“入門”』というタイトルが、余計にギャップを生んでいると思う。
- ・帯番組の1コーナーではなく、ほかの時間帯で独立した番組として30～1時間じっくり話してもらいたい。
 - ・他の教養番組と同じ時間帯の番組として独立してもいいと思う。帯番組のコーナーとして続けるのであれば、帯番組のテイストに合わせて、もっと砕けて親しみやすい内容、まったく知識がない人でも気楽に聞ける内容にした方が良さそう。
 - ・喋り切れてない、まだまだ説明しきれないだろうなと感じる部分もあったので、1時間番組として構成し、じっくりと話してもらいたいと思う。
 - ・現在のコーナー30分で話している内容を1時間に延ばせば、もう少しテンポを落として話すこともできるし、聞き手もしっかり質問をしながら進めることができるのではないかな。
- ・教養系の番組は、自分が知らない話がたくさん聞けていいなと思うので、充実に期待したい。

7. 審議機関の答申または意見に対して取った措置

番組担当者に通知

8. 意見概要の公表

弊社ホームページ及び番組内にて公表